

メチルペンテンポリマー

PMP

(Methylpentene Polymer)

別 名	ポリメチルペンテン 商品名 : TPX
概要	結晶性のオレフィン系熱可塑性樹脂で、昭和40年に英国のインペリアルケミカルインダストリー（略称 ICI）が工業的製造に成功、昭和43年からTPXの商品名で商業生産、販売を開始した。 昭和47年頃から日本に輸入されるようになったが、昭和48年に三井石油化学工業（現 三井化学）が ICI から製造販売に関する全権利を継承し、昭和50年初から国産化を始めている。現在商業生産をしているのは世界中で三井化学唯一社だけである。
原料	プロピレン（プロピレンを二重化してできる4-メチルペンテン-1が出発原料）
製法	4-メチルペンテン-1をチーグラ-ナツタ系触媒で重合する。
荷姿	紙袋（20kg入り） フレコン（500, 1,000kg）
規格	食 品 接 触 用 途 ・USA/FDA 21 CER-177,1520 ・厚生省 告示 第20号 ・ポリオレフィン等衛生協議会の自主規制基準 ・FRG/ BGA, A-XL III
性状	ポリオレフィンに共通する化学安定性、電気特性を示すほか、他のポリオレフィンには見られない透明性を有する。 無色透明 密 度 0.83 融 点 230 ～ 240℃ メルトフローインデックス 8 ～ 180 (260℃ 5kg荷重) 屈 折 率 1.463 引張降伏点応力 20 ～ 30 MPa 引張破断点伸び 5 ～ 60% ピカット軟化点 150 ～ 185℃ 熱変形温度 80 ～ 100℃ (66psi) 成形収縮率 1.5 ～ 1.5% 燃 焼 性 UL94HB、UL746B
成形加工法	射出成形 シリンダー温度 280～ 300℃ 金型温度 20～ 60℃ 押出成形 バレル温度 270～ 330℃ ダイ温度 270～ 330℃
用途	医 療 器 具 （血液検査用セル、注射器、注射針ハブ、採尿瓶など） 理化学実験器具 （メスシリンダー、フラスコ、シャーレービーカーなど） 家庭電器用具、雑貨 （電子レンジ用調理具、コーヒーメーカー部品、玉子ゆで器部品、ポップコーンメーカー部品等） 紙 加 工 品 （産業用剥離紙、食品調理用使い捨て紙容器など） そ の 他 （化粧品瓶キャップなど） キュア工程の副資材 （LEDモールドカップ、ゴムホースマンドレル&シース、離型フィルム）
製造業者	三井化学
備考	既存化学物質 (6)-1472 (6)-1526 (6)-1582 CAS No. 25155-83-3 103908-22-1 81229-87-0 輸出(入)統計品番号 3902.90(3902.90)